

学会だより

山路ふみ子自然科学振興財団研究助成

昭和50年度の山路ふみ子自然科学振興財団研究助成候補者として、本会から名古屋大学理学部の小川英夫、日本学術振興会奨励研究員の田口功尚氏の「ジョセフソン効果を用いた電波検出装置の開発」を推薦していたところ採用され、11月1日授与式がありました。なお同研究助成は今年度限りで廃止されます。

藤原賞受賞候補者推薦について

財団法人藤原科学財団より、第17回藤原賞受賞候補者を推薦されたい旨の依頼が学会あてにありました。適当な方がありましたら、庶務理事あてに2月10日まで御連絡下さいますようお願い致します。藤原賞はわが国科学技術の発展に卓越した貢献をされた方に賞2件(副賞金1千万円)が贈呈されます。

科学研究賞補助金配分審査委員候補者

日本学術会議研究費委員会より標記の件について推薦の依頼がありましたので、本学会として評議員の書面投

票により下記の方々を推薦いたしました。

第1段審査委員候補者：守山史生，加藤正二，河鱈公昭

第2段審査委員候補者：海野和三郎，末元善三郎

文部省はこの推薦にもとづいて第1段2名と第2段1名を任命します。なお第1段には須川力氏が留任となっております。

住所変更の方へ——住所変更の通知を出したのに旧住所に月報が送られて来るとの苦情が時々ありますが、發送手続の都合で約2ヶ月後でない和新住所に変更できませんので御了承下さい。住所変更はすみやかに学会宛御通知下さると共に郵便局にも御連絡下さるようお願い致します。又退会等についてもすみやかに御連絡下さい。

お詫びと訂正

11月号368頁の1975年白鳥座新星についての石田五郎氏の文中で本田実氏から電話をいただいたのは $23^{\text{h}}45^{\text{m}}$ とあるのと、香西洋樹氏の文中の表 $23^{\text{h}}47^{\text{m}}$ とあるのを $22^{\text{h}}45^{\text{m}}$ と訂正します。

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価240円(〒32円) 76—1月号・12月5日発売!

●1月号のおもな内容

- ★この冬は、にぎやかな冬の星座の間に西から木星・火星・土星と、明るい惑星が輝いています。1月号から宮本正太郎氏の“惑星をたずねて”が始まります。
- ★76年の流星群の予報をまとめました。月明との関係が気になります。おなじみの富岡氏の図入り予定表です。
- ★76年のりゅう座群は月明もなく最高の条件、藪保男氏の観測ガイドをのせました、FMによる観測もしよう。
- ★太陽は極小期をむかえているといわれていますが、小山ひさ子さんが最近の太陽面を解説します。
- ★天体観測用の双眼鏡テストが始まります。そのほか天文台だより、読者スケッチ、変光星などの案内です。

天文年鑑1976

毎年刊行されている1年間の天文現象ガイドブックです。1月から12月までの星座、惑星、流星、慧星、小惑星などの案内のほか、過去1年間に起った目立った天文現象や天文界のトピックスの報告を収めてあります。多くの天文アマチュア、専門家、学校などで愛用されている信頼ある年鑑です。今年で第28冊目です。

●天文年鑑編集委員会編/B6判・400円好評発売中

火星

パトリック・ムーア 共著
チャールズ・A・クロス
斉田 博訳

火星には運河がある、火星人がいるらしいなど、この星は昔から話題の豊富なロマンに満ちた惑星です。宇宙探査船マリナー号は、火星の上空をまわり多数の写真を撮り、観測をして、地球へ送ってきました。

本書はアメリカ・ソ連の最新の情報、資料を使って描き出した火星の紹介です。運河はないのか？火星の極冠は氷か炭酸ガスか？●A4判・2800円・12月中旬発売

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
振替東京6294 電話03(292)1211